

## 単身者増加地域のつながり強化を

### 身寄りない人の支援 在り方は？



単身者が増加している現状を解説する藤森教授＝半田市東洋町のアイブラザ半田で

### 知多のNPO法人半田で講演

NPO法人知多地域権利

擁護支援センター(知多

市)は11日、身寄りのない人への支援の在り方を考える講演会を半田市のアイブラザ半田で開いた。日本福祉大の藤森克彦教授が、単身者が増加する現状につい

て解説した。藤森教授は、これまで標準的とされていた夫婦と子どもからなる家庭の在り方が、単身世帯の増加によって変化が生じていると指摘。家庭内で分担していた介護や家事について「家族

が変わる中でどう担っていくのか、分岐点になっている」と述べた。

家族以外のつながりとして、知人や近所どうしのつながりを強化する必要があるとし、「人さまに迷惑をかけてはいけない」という意識を持つ人は多いが、いかに支え合う社会を

つくっていけるのかが一つのテーマ」と話した。

このほか、特別養護老人ホームや病院の担当者らと交えたパネルディスカッションもあり、単身者の孤立防止や終活などについて話し合った。

同法人が今秋から、身寄りのない人の生活を支える「くらしあんしんサポート事業」を始めるのに合わせ、開催した。(山岸弓華)